



平成29年6月30日
練馬区立関町小学校
学校だより 7月号

夏休みは全児童、自由研究（制作）と応募作品づくりに取り組みます

校長 福岡 勤

「練馬区の第2学期は、7月21日（金）から始まります。」と言うと驚かれる方もいらっしゃるでしょう。「え？2学期の始業式は、9月1日（金）なので、そこからではないの？」とお思いになるのは当然のことです。しかし、練馬区では、平成28年度から「新たな3学期制」を実施しており、夏季休業日（夏休み）は2学期に、冬季休業日（冬休み）は3学期に組み入れることになっておりますので、冒頭の出だしとなりました。

この「新たな3学期制」は、各学期や長期休業日ごとに学びの過程を示し、学習面や生活面で目指す内容を一人一人に定着させ、長期休業日を学習期間として有効に活用することを特長としています。今年度は、これまでの通知表等にて学習・生活の様子を知らせ、夏休みの過ごし方の事前指導を行ってきたことに加え、一人一人の子供が興味・関心をもった課題を解決する学習に主体的に取り組み、考える力や表現力を高め、探究力、学びに向かう力なども育むために、標題のような取り組みを推進することにしました。

具体的には、大きく分けて次の2つの課題に取り組みます。

学年によっては、文字どおり取り組みそのものが自由だった自由課題研究（低・中学年は自由制作でも可）1点に全児童取り組む。

各種団体からの募集案内や要項に従った課題1点に全児童取り組み、応募する（作文コンクール、課題ポスター・シンボルマーク・貯金箱等の制作、意見文・俳句・標語等の作成など）。

については、単なる調べ学習にならないように、御家庭での御指導・支援も積極的にお願ひします。たとえば、「手洗い用ソーブやシャンプーな

どのワンプッシュ容器の仕組みはどうなっているのだろう？」とそれを課題にした場合は、インターネットや書籍で調べるとすぐに分かります。それを一歩進め、実際にその仕組みを再現する模型を身近な材料で作るなどしてみるとよいでしょう。

また、「『鬼』について調べたい。」と思った場合は、鬼が付くことばや関連するもの（「鬼遊び」「鬼が出てくる昔話」「節分」等）を連想するはずですが、その後、調べ学習をしてまとめておしまいとせず、「鬼」のルーツを探る旅に出るなどして、実際に各地の鬼にまつわることをルポルタージュするなどしてはいかがでしょうか。この二つの事例は、架空のものでなく、私が関わった子供たちの自由研究の中で特に印象に残ったものです。「子供の宿題に手出ししては...。」と遠慮せず、積極的な御家族の御支援・御協力をよろしくお願ひいたします。

また、については、学校に本当に沢山の企業・自治体等から募集案内が届いていますので、どのようなものがあるのか、夏休み前に別紙にてお知らせします。もちろん学校が把握しているもの以外のものに応募することも可能です。これらの課題の多くは、夏休み明けに学校または、直接御家庭から応募する形になっているものがほとんどです。御家庭から応募する場合のものも、一端9月1日（金）に学級担任に提出してください。担任の方でチェックして御返却いたします。

さて、9月末日に運動会を開催いたします。第6学年の組体操ですが、都教委の大技禁止の方針を受けて内容を縮小すると、十分なパフォーマンスを発揮した演技ができないこと、そして練習を含む当日までの安全確保を十分行えないことから、今年度も引き続き昨年度同様、「休止」とします。